

# 京都府立大学 かごらカフェ

活動地域:左京区、北区

活動時期:平成 25 年 4 月～

大学・団体名:京都府立大学・京都地域未来創造センター学生部会かごら

## 取組のきっかけ

京都府立大学は“府の大学”であるにもかかわらず、地元とのつながりがなく、地元住民との交流も少ない状況にある。学生と地域の連携・交流が図られていないという点を課題として認識し、地域と大学の懸け橋になるべく設立。

## 取組概要

月に一度(土曜日の午前中)、周辺地域の方々を招き、大学構内で無料のコミュニティカフェを主催。地域の人々と学生がつながるきっかけ、地域の居場所づくりを目指している。

○日時:月に一回(土曜日の午前中)

○場所:京都府立大学 大学会館1階ロビー

○参加者:地域の高齢者10～15名ほど

○内容

1. クイズ・ゲーム企画
2. サークル発表
3. フリートーク



## 工夫している点

### ・交流を促す工夫

参加者と学生の交流を促すため、クイズやゲーム企画を実施。また、府立大学や周辺の他大学の文化系サークルによる発表・パフォーマンスの時間を設けて、学生の活動を知ってもらうだけでなく、普段地域とかわることが少ない学生と住民の新たな交流を生むことを目指す。

### ・飽きさせない工夫

クリスマスやお正月などのシーズンイベントを利用、年に一度、植物園での開催

### ・情報発信力の向上

ビラを作成し大学周辺にポスティング、地域や大学のイベントで配布。自分たちの活動を知ってもらうためHPだけでなくツイッターなどのSNSを活用。

## 取組成果

### 参加者の声

- 日常にはない異世代交流ができて楽しい
  - 地域在住者との絶好の交流場所
  - いろんなサークルの演奏を聴いて心が豊かになる
- 口コミを通じて参加者が年々増加しており、設立当初から続く活動の成果が表れてきたと実感している。かごらカフェで生まれたつながりから地域の行事に参加するなど、かごらカフェを中心に学生と地域の新たな関係性が構築されている。

## 連携メンバー・団体/役割

京都府立大学	大学内での実施場所提供
京都地域未来創造センター	広報及び各種協力

## 今後の課題・目標

### ・今後の課題

一番の課題としては、カフェの参加者が常連化しており、客層が高齢者中心に偏っていることがあげられる。また、開催のタイミングを第何土曜日というように固定したいが、大学の行事などの兼ね合いから難しい。

### ・目標

月に一度の開催を継続すること。  
初参加の人や若い年代の人が気兼ねなく参加できるような企画・雰囲気づくりを行うこと。  
地域とより密接な関係を築けるよう、カフェに参加していただくだけでなく、積極的に地域の行事に参加すること。

## 関連ウェブサイト:

<https://kagora-kpu-new.jimdo.com/>